

# 知床の森から

平成26年 3月 第144号

北海道森林管理局 知床森林生態系保全センター  
〒099-4355 北海道斜里郡斜里町ウト口東番外地  
(国設知床野営場内)  
電話 0152-24-3466 FAX 0152-24-3477

ホームページ  
<http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/siretoko/index.html>

## 平成25年度 第2回知床世界自然遺産地域科学委員会を開催しました

2月27日に、札幌市で第2回知床世界自然遺産地域科学委員会を開催しました。

今回の科学委員会ではエゾシカの捕獲状況の現状報告や、知床半島先端部におけるエコツーリズムとしての利用をどうするか等を話し合いました。また、知床半島で実施しているモニタリング調査(植生調査、エゾシカ個体数、ヒグマ目撃数他)についても話し合い、今後どのような調査を行うか等検討しました。



### つらみ:知床世界自然地域科学委員会とは?

知床自然遺産地域の科学的な管理を行うために、必要な助言を得るために、平成16年に設置された有識者や行政機関で構成される会議です。本委員会の下には「エゾシカ・陸上生態系」「海域」「適正利用・エコツーリズム」について話し合う合計3つのワーキング・グループ(WG)と、河川工作物の改良等について話し合うアドバイザー会議(AP)が設置されています。

これまでの知床科学委員会の議事録等は【知床データセンター: <http://shiretoko-whc.com/>】で公開しています。





## 野生動物自動撮影調査結果報告

今年度は自動撮影調査を、斜里町<sup>まこい</sup>真鯉(6月・9月)と羅臼町<sup>しゅんかりこたん</sup>春苺古丹(10月)の2箇所で実施しました。今回試験的に調査した春苺古丹では、クマにカメラを壊される等のトラブルもありましたが、キツネ・クロテン・シカなど7種類の動物が撮影されました。また、真鯉では去年よりもエゾシカが若干多く撮影されました。

### ◆調査で撮影された写真を一部紹介!



珍しい顔が茶色のヒグマ(斜里町)



エゾシカ(羅臼町)

※詳しい結果については以下のURLからご覧ください。

【北海道野生生物観測ネットワークへようこそ:<http://cse.ffpri.affrc.go.jp/hiroh/wildlife-monitoring/index.html>】

## エゾシカ捕獲を実施中!

エゾシカによる森林生態系への影響が無視できない中、当センターの国設野営場(キャンプ場)近くで囲いワナによるエゾシカ捕獲を実施しています。今年度はこれまで35頭捕獲しました(3月20日現在)



斜里町ウトロはまだまだシカがたくさん生息しており、対策が必要です。知床森林生態系保全センターは今後も生息密度を下げるためエゾシカ捕獲を実施していきます。

囲いワナの詳しい話は隣のページをみてね!



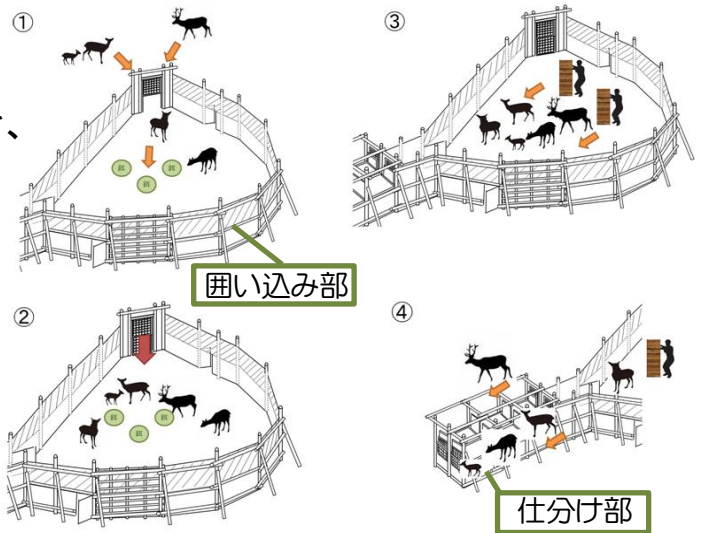
## コラム: Q 囲いワナ捕獲とは?

A: その名の通り、囲いを作ってその中にシカをおびき寄せて捕まえる捕獲方法です。

### Q 囲いワナでどうやって捕まえるの?

A: 次のような手順で捕まえます。

- ① 囲い込み部にエサ(畜産用飼料など)を置き、周辺のシカをおびき寄せる。
- ② 一定以上の頭数のシカが入ったら落とし扉を落とす。
- ③ 囲い込み部に人が入り、シカを仕分け部に追いやる
- ④ 仕分け部でオスとそれ以外のシカに分け、搬送箱にシカを入れ運搬する。



### Q 囲いワナの良い所と悪い所は?

A: 囲いワナにも次のような良い所と悪い所があります。

良い所: 銃猟よりも安全が確保しやすい。

建設が終われば音があまり出ないので、希少動物への悪影響がほとんどない。  
シカを傷つけないのため、捕獲後の食肉利用などがしやすい。

悪い所: 1頭当たりの捕獲コストが高めになる。

エゾシカの捕獲は、周囲の安全や希少種の生息など、状況に応じて適切な方法を選ぶのが大切です。特に知床はオジロフシなど希少鳥類が多数生息しているため、囲いワナが重要な捕獲手法になっています。

## オショロコマ調査の結果報告



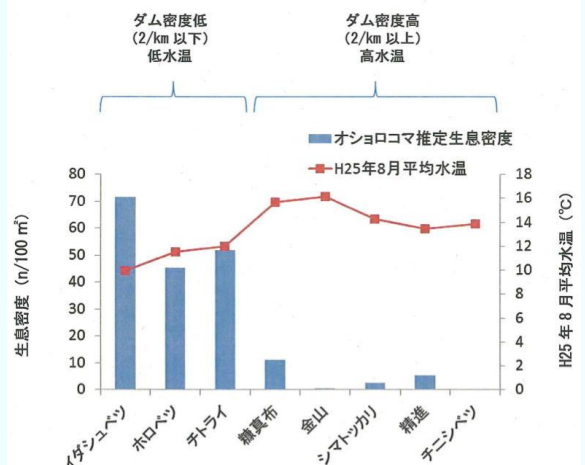
前回の143号でオショロコマの生息状況や水温を調査していることとお話しました。調査結果がまとまりましたのでその一端をご紹介します。

図の右側4河川のように防災上設置されたダムの密度が高い場所ほど高水温になる傾向が見られ、オショロコマの生息密度は少なくなる結果が得られました。

ダムの密度が水温に影響を及ぼし、その水温が生息数に影響を与えていると考えられます。

来年度以降もこの調査を長期的に継続し、生息状況や水温に変化がないかモニタリングしていきます。

この調査の詳しい情報は、**知床データセンター>調査研究>行政機関事業報告書** (<http://shiretoko-whc.com/research/report.html>)をご覧ください。





## 斜里高校生徒の皆さんとポンホロ沼に行ってきました!

10月7日及び10日に斜里高校自然体験学習を行いました。  
今年度は、ポンホロ沼周辺の森林散策、岩尾別川でサケ類遡上の観察  
の他、シカの食害を受けた森林への植樹を行いました。



中が腐り空洞になっても元気なミズナラ  
を観察しました。



秋のポンホロ沼はヒメスゲ草原になって  
います。背景には羅白岳が。



岩尾別川で遡上している  
カラフトマスを探しています。



植樹活動の様子。苗畑から苗木を  
掘いと...



荒れた森林にミズナラを植えました。

斜里高校の皆さん。森林再生へのご協力ありがとうございました!



### ボランティア活動施設のご案内

ボランティア活動施設は3月24日から休館致します。  
平成26年度4月第3週から開館予定です。

※詳細が決まりましたらHPでお知らせします。

☆知床森林生態系保全センターでは、「ブログ・知床の四季」で情報をお届けしています!

→<http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/siretoko/index.html>